

イベントごみ減量の手引き

延岡市内では年間を通じてさまざまなイベントが開催されています。多くの人が集まり、まちの活性化につながりますが、一方で多くのごみが発生し、適正に処理を行わないと環境に負荷がかかってしまいます。

市は事業系廃棄物の適正処理に取り組み、さらなるごみの減量・資源化を目指しているところです。イベントから出るごみについても分別と減量化にご協力をお願いします。

1. イベントごみの処理について

イベント主催者から提出されたイベントごみ適正処理計画書（以下「計画書」と略します。）により、延岡市が公共性や公益性があると判断したイベントについては、来場者の飲食等により発生するごみを事業系一般廃棄物として市の処理施設で処理することができます。

なお、イベントごみは、主催者が主体的に責任をもって適正に処理する必要があります。

(1) イベントごみ適正処理計画書・実績報告書の提出について

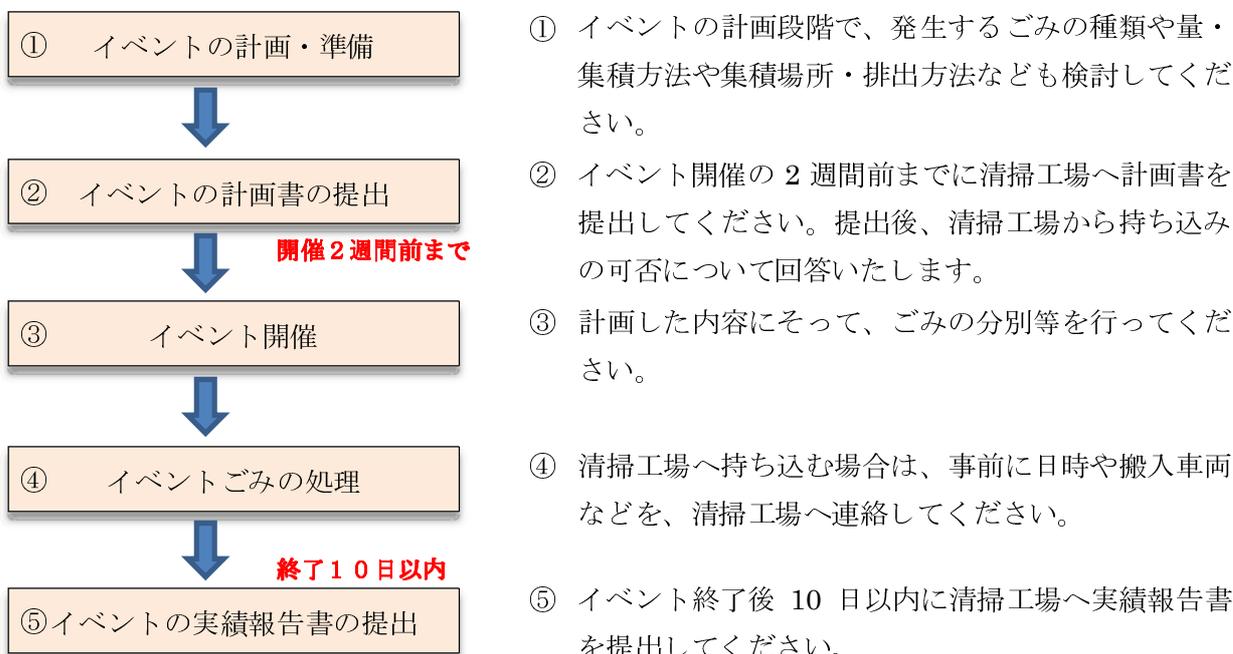
イベントごみを延岡市クリーンセンター清掃工場（以下「清掃工場」と略します。）に持ち込んで処理する場合は、計画書をイベントの開催2週間前までに、イベント主催者が清掃工場へ提出してください。計画書の提出後に、清掃工場への持ち込みの可否について回答を行います。なお、協議する必要性が認められる場合には連絡等を取らせてもらうほか、処理方法の未記載など計画書に不備がある場合は再提出をお願いする場合があります。

また、イベントの終了後10日以内に、イベント主催者がイベントごみ適正処理実績報告書（以下「実績報告書」と略します。）を清掃工場へ提出してください。

計画書や実績報告書は、発生するごみの種類や量（見込み）を把握してもらい、それに対する収集運搬方法、処理方法、搬入先を確認・整理してもらうためのものです。

計画を立案した後は、その計画に基づき、会場内の態勢などを整えていただき、適正なごみ処理に取り組んでください。

イベントごみに関する手続きフロー



(2) イベントごみの処理方法

清掃工場へ持ち込む場合

- ① 自己搬入する。
- ② 延岡市事業系一般廃棄物収集運搬業許可業者へ収集運搬を委託する。

※ 分別方法については、「延岡市ごみだしルールブック」をご参照ください。

★ 環境に負荷がかからないイベントをおこなうために、分別に取り組みましょう

分別の徹底に ご協力を!!

燃やすごみ

生ごみ（水気を切る）、紙コップ、紙皿、割り箸、タバコの吸い殻



プラスチックごみ

来場者の飲食等に伴うもので、家庭から出るごみと性状が同質のもの（スプーン、フォーク、ストロー、食器類等）



古紙類

ダンボール、新聞紙、チラシ、パンフレットや冊子



ペットボトル

来場者の飲料用ペットボトル



びん・缶

来場者の飲料用びん・缶



※リサイクルできるものは、可能な限りリサイクルしてください。

※ 産業廃棄物（調理食材の廃プラ、スタッフジャンパー、のぼり旗等）は清掃工場では原則処理できません。産業廃棄物の処理業者へ委託する等、適正に処理をしてください。

2. イベントごみを減らすためにできること

★ ごみ減らしのポイントは4つのR



4Rとは、ごみの出ない循環する社会をつくるためのキーワードです。

ごみを減らすためにまず最も大切なことは、ごみを発生させないことです。**Refuse**（リフューズ：断る）、**Reduce**（リデュース：減らす）

次に大切なことは、再使用することです。**Reuse**（リユース：再使用）

さらに、使えないものは分別して再生利用しましょう。**Recycle**（リサイクル：再資源化）

(1) ごみを出さないために

- ① 来場者にごみの持ち帰りを呼びかけましょう。
- ② 来場者にマイバックの持参を呼びかけ、過剰包装を控えましょう。
- ③ 使い捨て容器は使わず、繰り返し使えるリユース食器を利用しましょう。
- ④ ごみをきちんと分別し、資源物はリサイクルしましょう。



(2) 分別に取り組むにあたって

★ イベント準備の段階では

- 開催するイベントからどのようなごみが出るか調べます。
- イベントごみの分別区分を決めます。
 - ・資源物を含め基本的な分別区分に従って区分します。
- ごみの集積方法や集積場所を決めます。
 - ・集積場所をどこに設置するか、面積は十分か。
 - ・集積場所での回収方法。
 - ・分別ボックスを準備するか、誰が準備するか。
 - ・個別集積場所から誰がどのように最終的な集積場所に運ぶか。



- ごみ収集運搬業者と話し合い、分別区分ごとの処理を委託します。

(協議するおもな内容)

- ・ごみの分別区分と処分先。
- ・業者がごみを回収する場所。
- ・ごみを回収する時間・回数。
- ・契約金額および支払い方法。
- ・その他必要な事項。



- 分別区分を関係者に周知し、協力を呼びかけます。

- 分別区分をわかり易く表示します。



★ イベント開催中は

- 来場者用の分別ボックスを設置した場合、分別されているかどうか定期的にチェックし、分別区分と異なるごみが入っていた場合は取り除きます。
- 分別区分ごとのごみの処理やポイ捨ての禁止を場内放送等で定期的に呼びかけ、環境に配慮したイベントであることをアピールします。



★ イベント終了後は

- 分別ボックス内のごみが適正に分別されているか確認し、集積場所に運びます。
- 集積場所に運ばれたごみが分別区分に沿っているか確認します。



(3) 分別回収のポイント

★ 分別ステーション(資源回収拠点)を設置する

ごみの集積場所については、ごみ箱を置くだけの「ごみ捨て場」にするのではなく、分別の案内や手伝いをするスタッフを配置した「資源回収拠点」にし、適切な分別に取り組みましょう。

分別ステーションの設置について

①ごみ箱を置かず、分別ステーションを目立つ場所に設置する。

- ・来場者が分別ステーションでごみを捨てるよう、会場内にごみ箱は置かないようにしましょう。
- ・分別ステーションは、来場者が必ず通る場所、目立つ場所や明るい場所など、わかりやすい場所に設置しましょう。
- ・設置場所については、イベントチラシ等での事前の周知や会場アナウンスによる案内をおこないきましょう。

②スタッフを配置する。

- ・分別ステーション1箇所、交代で休憩する人を含めて数人のスタッフを配置しましょう。
- ・分別ステーションには必ずスタッフが在駐し、来場者に分別の案内をしましょう。

③回収する資源を決める。

- ・ごみ収集運搬業者等と相談し、何をどう分別するかを決めましょう。
- ・集める資源は分別品目ごとにボックスを設置し、文字だけではなくイラストを使用するなど、わかりやすい表示にしましょう。

分別ステーションに必要なもの

- ・[テント] ステーション設置に使います。
- ・[分別ボックス] 分別する品目に合わせて色違いにすると効果的です。
- ・[分別の案内板] ボックスに貼り付けるなど、案内しやすいものを用意します。
- ・[看板やノボリ旗] ステーションが目立つようにしましょう。
- ・[メガホンや拡声器] 来場者に分別方法を案内します。
- ・[バケツとザル] 食べ残しや飲み残しを分けたり、ペットボトルやびん・缶をすすぎます。
- ・[その他] 回収用袋、軍手、ゴム手袋、雑巾など。



【問合わせ先】

延岡市 クリーンセンター 清掃工場 Tel 0982-33-1869
資源対策課 Tel 0982-34-2626